

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(8) 地域の特産品、お土産などの開発	41	43	-2	32
(9) 地場資源などの活用による企業の支援	41	40	+1	35
(10) 地場性の高い新作物や加工品の研究開発	40	42	-2	35
(11) 通年雇用型の企業の誘致	33	31	+2	28
(12) 若者が働ける職場づくり	23	24	-1	23
(13) 既存企業の育成・振興	36	36	0	35
(14) 地元農産物の販売環境	41	41	0	35
(15) 地域密着型の安心できる商店の育成	32	30	+2	32
(16) 買い物にやさしい商店街の環境づくり	29	29	0	29
(17) 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	38	38	0	31
(18) 温泉保養やスポーツを活かした宿泊や滞在型観光の推進	30	27	+3	31
(19) カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	49	45	+4	43
(20) サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	29	28	+1	31

# 産業活性化



水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち

# 行政評価結果

## 「町民アンケート」結果

町では「第5次弟子屈町総合計画」の進捗状況を評価する行政評価を実施しており、その成果指標とするために、毎年度「町民アンケート」を実施しています。今年5月に実施したアンケートの結果と、アンケート結果などを踏まえて行われた「行政評価」の結果をお知らせします。

アンケートにご協力いただき、ご意見をお寄せいただいた皆さま、ありがとうございました。

### 実施内容

目的／広聴活動の一環および総合計画の達成度を測る指標の現状を調査する

対象／20歳以上の町民名簿から無作為に抽出した1000人

期間／5月28日発送、回答期限を6月11日に設定

回答率／30.4%

### 評価方法

アンケートのうち、行政評価・まちづくりに関する設問(問8、問16)について、それぞれの項目ごとに大変満足「5」、満足「4」、ふつう「3」、あまり満足でない「2」、満足でない「1」のいずれかに○印をつけてもらい、それを集計・点数化しました。

大変満足「100点」、満足「75点」、ふつう「50点」、あまり満足でない「25点」、満足でない「0点」として集計しています。

また、自由記載欄には自由に意見を書いていただき、170件の意見をいただきました。主な意見を掲載します。

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(21) 検(健)診など健康づくり事業の推進	56	54	+2	47
(22) 医療施設の診療科目など医療の充実	37	37	0	28
(23) 医療費助成の充実	46	47	-1	40
(24) 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	48	48	0	42
(25) 高齢者のための健康・生きがいづくり	50	50	0	44
(26) 自立支援や在宅介護など障がい者(児)福祉制度の充実	47	46	+1	45
(27) 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	43	42	+1	36
(28) 母子・父子家庭福祉サービスの充実	43	42	+1	45

# 暮らし



健康で安心して子育てできる環境整備を

町民の声  
(自由記載から一部を掲載)

- 空き家や廃屋が多く、子どもが安心して暮らせない。
- 病院の診療科目を充実させてほしい。
- 運転免許証を返還しても安心して生活できるまちになってほしい。
- 車がないと買い物がない。
- 自然がたくさんあり、子育てするには素晴らしい環境です。

# 回答結果

※町民アンケートのうち、行政評価・まちづくりに関する設問(問8、問16)の回答のみをお知らせします。

問8 弟子屈町の生活環境やまちづくり、町政についての満足度をお尋ねします。

問16 よりよいまちづくりに向けて、あなたのご意見を自由にお書きください。(自由記載)

# 環境



町民の声  
(自由記載から一部を掲載)

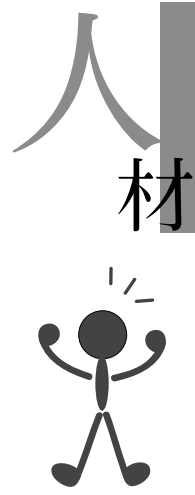
○道の駅のまわりの花などはきれいですが、市街地は整備されていない所も。

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(1) 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	60	58	+2	51
(2) 自然環境と調和する町並み景観の整備	41	41	0	37
(3) 緑化や花いっぱい運動などの推進	54	52	+2	48
(4) 自然開発におけるルールづくりの推進	46	46	0	42
(5) 省資源や省エネルギー化の推進	48	47	+1	42
(6) ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	61	59	+2	54
(7) 新エネルギーなどCO2を削減する環境保全の推進と啓蒙	48	47	+1	45



郷土を学び誇れるまちに

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(47) 人材育成の推進	41	40	+1	38
(48) 弟子屈町のことを学ぶ機会の充実	43	43	0	
(49) 団体やサークル、リーダーの育成	43	44	-1	42
(50) 町民同士や団体同士の連携や協力	44	44	0	42
(51) 他地域へ誇る郷土愛を育む学習や町の魅力を高める活動参加機会の充実	44	44	0	
(52) 姉妹都市交流や他市町村・国際交流機会などの充実	49	49	0	48



**町民の声**  
(自由記載から一部を掲載)  
○せっかくの温泉地。日帰り温泉など、温泉を利用した施設があればいい。  
○娯楽施設や遊ぶ場所がない。有料でもいいので、スポーツジムなどがほしい。  
○町内でまちの特産品が買える、食べられるようなところがあるといい。  
○若者の働く場所が増えるといい。  
○若者同士で交流できる場が必要。

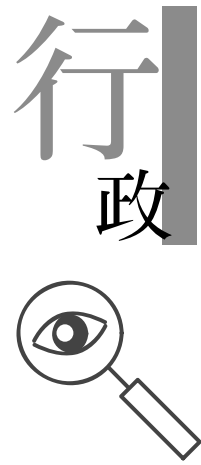


新たな市街地を町民の皆さんと検討(中心市街地再構築全体構想町民会議)

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(29) 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	50	48	+2	46
(30) 子育てしやすいまちづくりの推進	43	45	-2	
(31) 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の共同推進	44	45	-1	
(32) 下水道の整備	50	48	+2	49
(33) 観光のまちにふさわしい街並み景観の整備	33	32	+1	
(34) 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	39	37	+2	42
(35) 安全な通行と輸送などのための道路整備	45	46	-1	48
(36) 住宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	50	47	+3	47
(37) 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性	36	38	-2	40
(38) 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	55	56	-1	51
(39) 学校施設の整備	55	55	0	

**その他**  
町民の声(自由記載から一部を掲載)  
○私一人ではできないけれど、町全体がひとつになれば何かできると思います。  
○国や時代の流れをいち早く情報収集できる人材を育成してほしい。  
○サイレン(チャイム?)が頻繁に鳴るがいざという時に効果がなくなるのでは?。

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(53) 町民主体のまちづくり活動の推進	44	45	-1	44
(54) 地域コミュニティ会館の整備	44	45	-1	50
(55) バリアフリー化の推進	43	42	+1	43
(56) 広報や町ホームページ、広聴の充実	55	54	+1	50
(57) インターネット、ラジオ、テレビなどの地域情報基盤の整備	47	46	+1	44
(58) 行政サービスの向上と迅速化	47	45	+2	44
(59) 施策の考え方の公表(施策の説明責任)	44	45	-1	43
(60) 財政の健全化	44	41	+3	40



町の情報分りやすく発信

**町民の声**  
(自由記載から一部を掲載)  
○職員意識改革を望む。もっと町民目線に立ってほしい。  
○大きな都市と違い、近所の方と繋がりができてとても満足しています。  
○将来を担う小中高生などの意見をたくさん取り入れてほしい。  
○財政の健全化が急務。事業を見直してでも行うべき。  
○観光も必要ですが、住んでいる人たちを優先に考えてほしいです。



**町民の声**  
(自由記載から一部を掲載)  
○学校や児童館などの安全確保を充実させてほしい。  
○子どもが安全に遊べる公園などをもっと充実させてほしいです。

設問	満足度(点)	昨年度(点)	点差	策定時(点)
(40) 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	52	51	+1	46
(41) 幼児教育や機能の整備	51	49	+2	46
(42) 生涯学習機会の充実	51	50	+1	47
(43) 図書館や資料館などの施設や機能の充実	47	46	+1	45
(44) 芸術や文化に触れられる機会の整備	44	44	0	44
(45) スポーツ環境の充実や施設の整備	43	40	+3	43
(46)アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備	43	42	+1	43



だれもが安心して教育を受けられる環境づくりを

# いよいよ冬です！まさかの停電に備えましょう

## 防災ワンポイントコーナー

昨年9月6日の胆振東部地震により、道内全域が停電となるブラックアウトが発生しました。本町でも2日間停電が続き、観光・農業・商業などの経済活動だけではなく、日常生活にも大きな打撃を受けました。家庭でも、照明はもとより、すべての電化製品が使えなくなり、携帯電話のバッテリーもなくなるなど、電気のない生活の不便さを痛切に感じたことと思います。これらの教訓から、各家庭においても、カセットガスコンロや電気を使わないポータブルストーブ、懐中電灯などの準備を進めていると思いますが、本格的な冬の季節を前にもう一度確認してください。

また、非常食の準備も進めていると思いますが、知っておくと便利な「自宅での避難生活を支えるために便利なもの」を紹介します。

### ▶自宅での避難生活を支えるために便利なもの

- レトルト食品、アルファ米、無洗米、ホットケーキミックス、缶詰（肉の大和煮、魚の味噌煮、フルーツなど）
- 乾物（わかめなどの海藻、高野豆腐、切り干し大根、ドライフルーツ、インスタントスープ及び味噌汁）
- 根野菜類（じゃが芋、サツマ芋、人参、カボチャなど） ●カセットガスコンロ、予備のガスボンベ
- 飲料水（500ml・2ℓのどちらでも可）と水袋または水タンク（水の配給が来た時に必要）

## Jアラートの試験放送を行います

大地震、火山噴火および河川氾濫などの災害が発生した場合や他国から弾道ミサイルが通過した時には、これらの情報をいち早く住民にお知らせするため、消防のスピーカーを通じて一斉放送が行われます。本年8月から3カ月ごとに全国一斉で試験放送を行っています。試験放送の日時と放送内容、スピーカー設置箇所は以下のとおりです。試験放送を行う日時の前には、予告放送を行います。

- ▶放送日時／●12月4日(木) 11時 ●令和2年2月19日(木) 11時の2回
- ▶放送内容／上り4音チャイム音～「これはJアラートのテストです」×3回～「こちらは弟子屈町です」～下り4音チャイム音
- ▶消防のスピーカー設置箇所  
弟子屈消防署、弟子屈消防署跡地、川湯消防支署、川湯市街地、川湯敷島団地、川湯消防団川湯駅前詰所、弟子屈消防団美留和詰所、弟子屈消防団屈斜路詰所、泉ふれあいセンター、弟子屈町社会老人福祉センター、弟子屈町商工会館、すずらん丘会館

問い合わせ先／役場総務課防災情報係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)

## 購入のお忘れはありませんか？

### 低所得者・子育て世代の方へのプレミアム付商品券

- ▶プレミアム付商品券を購入できる方  
 《低所得者の方》 9月下旬頃に送付している申請書を持参し役場または川湯支所で申請してください。また、対象と思われる方で、送付のなかった方、紛失された方などは、一度お問い合わせください。  
 《3歳未満のお子さんがある子育て世帯の方》 申請は不要です(既に「購入引換券」を発送しています)
- ▶プレミアム付商品券  
 どちらも対象者1人につき、20,000円で25,000円分利用できる、1冊4,000円の商品券を5冊まで購入できます。
- ▶購入方法・販売場所  
 ●町が発行する「購入引換券」、本人確認書類(運転免許証、保険証など)をお持ちください。  
 ●町内の郵便局(弟子屈・川湯・美留和・屈斜路)、役場福祉課、川湯支所の窓口で購入できます。  
 ●平日の午前9時から午後5時まで購入できます。
- ▶商品券購入期間／令和2年3月31日(火)まで
- ▶商品券使用期間／令和2年3月31日(火)まで(使用できる店舗などは、商品券購入時にお知らせします)  
 ※使用期間を過ぎた商品券は使えません。また、残った商品券を換金することもできませんのでご注意ください。

問い合わせ先 商品券について／役場福祉課地域福祉係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 1 (課直通)  
 取扱店について／役場観光商工課商工振興係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

# 行政評価結果

## 2次評価(町長・副町長・教育長による評価)の結果(主なもの)

施策	改善点と今後検討すること
産業間連携の推進	農業への新規入植システムの構築。協力隊への支援
観光の振興	観光客増加に向けた施設整備のための財源の確保
高齢者福祉の充実	介護職不足対策として外国人材を含め検討を
快適な生活空間の形成	公営住宅の在り方の検討を進める
義務教育環境の充実	将来的なへき地小学校の在り方の議論・協議を
地域の魅力を高める人材育成	若い人材をいかに育てるかをさらに検討
情報共有の充実	SNSでの情報発信の取り組みを積極的に推進

## 3次評価(町民評価委員会による評価)の結果

※大きく6つの点について、今後の課題と在り方が話されました。

1 屈斜路湖の適正利用について、北海道プレジャーボート条例の適用や登録制の導入とあるが、どのような効果があるのか。自主ルールについても運用は限界が見えている。エコツーリズム推進地域として全面規制を含め検討すべきではないか。

- 2 農業被害の拡大が続く、その対策が急務であるが、鳥獣対策の担い手である猟友会の高齢化が著しい。若い世代にどう引き継いでいくか対策を急ぐべきである。
- 3 既存の観光資源だけでなく、さまざまな魅力の再発見をするため、町にも協力してもらいたい。てしかがえこまち推進協議会の役割は全国でも例が少なく貴重な存在であり、さまざまな立場の方から意見が聞け、実行できる重要な場になっている。エコツーリズムの推進のためにも、協議会をさらに充実させ、継続させていくことが重要である。
- 4 弟子屈高校の生徒たちが「弟子屈のことが好き」「どうしたら弟子屈がよくなるのか」と素直に口にしていて、地域を学ぶ効果があるので感じる。しっかりと継続してほしい。また、公設塾を設置したが、それだけではなく、弟子屈高校が力をいれているという英語力の向上のため、海外への修学旅行など、さらに魅力向上の手段を考えるべき。
- 5 まちづくりアドバイザーをもっと有効に活用すべき。
- 6 人財バンクなどをもっと活用できるように見直しが必要ではないか。行政や民間の枠を超え、さまざまな知識・経験をもつ方と連携し、動ける人材、人が集まれる場所を作っていくことが大切ではないか。



えこまち推進協議会の推進・まちづくりアドバイザーの活用

問い合わせ先／どちらも ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通) まで  
 町民アンケートについては、役場まちづくり政策課広報統計係  
 行政評価については、役場まちづくり政策課政策調整係